

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院 腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身またはご家族の診療情報を使ってほしくないとお考えの場合には、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

なお、この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として研究対象として扱わせていただきます。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2023年1月1日 ~ 2026年3月31日の間に、虎の門病院分院に通院し、腎生検および腎臓MRI検査を受けられた方

【研究課題名】

腎臓MRIによる腎病変の同定に関する後ろ向きコホート研究

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究では、虎の門病院分院において腎生検および腎臓MRI検査を受けられた方において、腎臓MRIが腎生検で診断された活動性腎病変の同定に有用であっ

たかどうかを、既存の診療情報を用いて、後ろ向きに検討します。

《研究に至る背景》

慢性腎臓病の診断は、血液検査や尿検査で異常を指摘された方が原疾患の同定のために腎生検を受けることで診断されます。しかし血液や尿の異常を指摘されたことがない患者さんでは、腎生検に至らず経過観察されてしまい治療介入が遅れてしまう方がいることは重要な課題であります。腎臓MRIは被爆のない非侵襲的な放射線画像検査であり、一部の腎疾患では病変を画像で捉えることができそれが腎生検につながる可能性があります。しかし他の腎疾患で有用であるという報告は限られています。そのため本研究では、腎臓MRI検査が腎病変の同定に有用かどうか、腎病理組織と比較して後ろ向きに検討します。

【研究期間】

2026 年 7 月 24 日 ~ 2028 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように、個人と関わりのない番号等に置き換えて研究を行います。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できない形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センターにおいて、研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後には、個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 血液・尿・画像検査データ、診療記録、腎生検病理検査所見など

【研究代表者】

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院分院腎センター内科 部長 澤 直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報および知的財産権の保護等に支障がない範囲内で、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も、診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院腎センター内科 大庭悠貴

電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院分院腎センター内科 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)